

伊藤文子先生 : J Am Coll Cardiol. 2010;55:2319-2327

“肥るほどに、心が震える！”

**The Long- and Short-Term Impact of Elevated Body Mass Index on the Risk of New Atrial Fibrillation
The Women's Health Study (WHS)**

【背景】米国の報告では、心房細動の患者数が 230 万人から 1100 万人へと急激に増加しており、肥満の増加との関連が示唆されています。

【方法】今回、WHS45 歳以上の健常女性(平均年齢 54.6 歳)を対象とした n=34,309 のコホート研究において、質問表による聞き取りにより、BMI と、心房細動の発症リスクが検討されました。

【結果】BMI 別の Af の罹患率は 1000 名あたり、BMI<25; 1.55/年、25-29.9 1.85/年、 ≥ 30 ; 2.98/年であり、BMI<25 に対する相対危険度は、25-29.9 1.19 倍、 ≥ 30 ; 2.06 倍と肥満度の上昇につれて Af のリスクが高いことが明らかになりました。特に、ずっと BMI ≥ 30 の人より、観察中、 ≥ 30 になった人のリスクが高いことがわかりました。さらに、BMI25-29.9、および ≥ 30 の人では、60 歳以上や喫煙者の、さらにリスクが高まることも示されました。

【結論】このように、米国女性を対象とした研究により、心房細動の増加の原因の一つに肥満の増加が起因していることが示されました。(文責 阿比留)